

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		水防事業				②事業番号		5109	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		⑦実施手法		〇 直営		〇 設定なし	
⑧関連予算科目コード		款		8		項		1	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		道路課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市管理道路		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
泉南市水防非常勤務要領に基づき水防活動を実施する。		① 警戒体制日数		日	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
異常気象による集中豪雨等の水害を最小限にとどめる。		① 活動日数		日	
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
水害から市民を守る。		政策(章) 4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち			
		施策大(節) 1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします			
		施策中 1 防災対策の充実			
		施策小 3 総合的な防災対策と危機管理体制の充実			

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	—	—	
対象指標②								
活動指標①	警戒体制日数	日	10	4	4	—	—	—
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	活動日数	日	10	4	4	—	—	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.50	0.50	0.68	0.68		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	4,054	3,856	5,190	5,190		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円	637	614	489	668		—
	直接事業費	千円	4,691	4,470	5,679	5,858		
	総事業費	千円	0	0	0	0		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	受益者負担金	千円	0	0	0	0		—
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	4,691	4,470	5,679	5,858		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	水害から市民を守るため開始。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	全国的な異常気象による集中豪雨の発生や自然現象による被害が増加しており、防災における市民ニーズがかなり高くなって来ている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	水害から市民の命と財産を守る観点から考えると今以上の体制強化が必要と考える。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	現在、異常気象が続いており現体制において対応能力に限界がある。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	今後の異常気象に対する水防体制の増強が必要。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	—
---	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	水害から市民の命と財産を守るために事業を進めるのが妥当である。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—